

邑南町社会福祉協議会（島根県）

生活困窮支援を通じた地域づくり
～「受け止める」「つなげる」「挑戦する」～



1. 基本情報

①自治体・団体名	社会福祉法人 邑南町社会福祉協議会
②住所等	〒696-0406 島根県邑智郡邑南町高見 485 番地 1
③圏域の人口、高齢化率	人口：10,769 人 高齢化率：43.8%
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業（受託）
⑤主な事業・活動（④以外）	<ul style="list-style-type: none">・総合相談センター事業・権利擁護センター事業・フードバンクおおなん・おおなんレスキュー事業・福祉教育推進事業・おおなん流小地域福祉活動推進事業・優友サポーター派遣活動・いきいきサロン・ふれあいサロン活動・地域歳末餅つき交流大会事業・社会参加促進事業・生活支援コーディネーター事業・社会福祉法人・医療法人地域貢献活動連絡協議会・介護保険サービス、障がい者福祉サービス 等

2. 取り組みの経緯・背景

- ・邑南町では「まちづくり」「人材育成」「就労の場」をキーワードに地方創生事業に力を入れ取り組んでいる。邑南町社協では第2次地域福祉活動計画（平成28年度～平成32年度5か年計画）を策定して「向こう三軒両隣」と呼ばれた古来の伝統的な「共に助け合い、担い合う」といった地域住民相互による地域づくりをテーマに「包括的な相談体制」「包括的な生活支援」に取り組んでいる。
- ・地域包括ケアシステムも地方創生事業の取り組みも言わば地域住民の幸せ＝福祉と捉えると共闘し新たな施策の創設、地域力の向上につながる。

3. 取り組み概要・実施体制

① ボランティア人材養成

・今までは、行政（福祉課・保健課）と社協それぞれでボランティアを養成していたが、それらの事業を統合し「集いの場」と「生活支援」のボランティアの人材を育成している。

② 「集いの場」ボランティア

・「集いの場」の運営やリーダー的な役割を担い、レクレーションや余暇活動、会食などを通じて介護予防と交流を目的とした安定したサロン活動を展開している

③ 「生活支援」ボランティア

・ごみ出しや買い物、冬季の除雪に灯油注ぎなどや制度やサービスの狭間で対応が困難なケースにちょっとしたお手伝いをする生活支援ボランティア（優友サポーター）を派遣し高齢になっても、何らかの障がいがあっても住み続けられる地域を目指し事業を行っている。

4. 成果や課題、今後の展開

① 効果

- ・ 少子高齢化や人口減少が地域の深刻な課題であり、福祉課題と直結するため「我がごと」「丸ごと」の意識啓発につながる。
- ・ 生活圏域に生活支援の拠点ができ地域住民への安心・安全につながる。
- ・ 生活課題・ニーズを解決するための新たな有償活動の創設。
- ・ 福祉課題に対するための保健・医療・福祉等の分野横断的な他職種・他機関連携による地域包括ケアの体制構築。

② 課題と展望

- ・ 「集いの場」「生活支援」+「コミュニティービジネス」「福祉ビジネス」=地域づくり
例「集いの場」と高齢者の趣味や生きがづくりを融合した取り組みの実施→野菜づくりと販売。
生活圏域にシルバー人材センター的機能を有した生活支援（有償活動）を実施しいつまでも住み続けられるまちづくりを目指す。